

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	越谷市立桜井保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	山口 尚美	定員(利用人数)：	87 (70) 名
所在地：	〒 343-0002 埼玉県越谷市平方1349	TEL	048-974-0449

③評価実施期間

平成28年7月4日(契約日)～平成29年1月20日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○保育所周辺の自然環境を活かし、職員と子どもの安定した穏やかな保育が展開されている
 広い園庭にはウグイスが春を伝えに來たり、近隣を散歩すれば、虫を見つけたり、野菜や木の実の成長に目を輝かせる等自然環境に恵まれている。虫の好きな子どもたちの気持ちを汲んで、おたまじゃくしやカマキリ、カブトムシを育てるなど、自然を活かし、関心・興味をさらに広げたり発展させる取り組みをしている。職員間の連携がよく、職員と子どもとの安定した関係ができており、食事中の会話も「柿のサラダ、さわやかな味だね」「おいしいね」など、穏やかでゆったりと食事を楽しんでいる様子がみられた。

○所長と主幹・主査のリーダーシップ、職員間の連携のもと、子どもたちの楽しい保育、保護者の満足度につながっている

所長と主幹のリーダーシップが活かされ、職員間での支え合いや連携がスムーズに行われている。職員間での連携を活かした子どもたちへの丁寧な対応、健康管理や保健衛生に関する取り組みが的確に進められている。所長の保育業務へのサポートや保育活動への的確なアドバイス、主幹の的確な指導や所長の補佐など、保育所全体で子どもたちを見守る体制が形づくられ子どもたちの楽しく安全で安心できる生活、健康管理・薬の与薬管理、アレルギー対応、食育への取り組みなどと合わせて、保護者からの高い満足度につながっている。

◇特にコメントを要する点

○子どもたちの興味や意欲を活かして、玩具などの見せ方・置き方など、室内環境の工夫を期待したい

職員間の連携が取れており、異年齢交流をさらに進めてグループ活動をする等、子どもたちの興味のある小さな生き物の飼育など、保育向上への前向きな実行力と子どもの意欲などを汲み取り保育をしている。今後に向けては、玩具類を自分で選んで出して使える環境、例えば、ぬいぐるみは子どもにとっては時には自分の分身であり、生活の再現の相手として、やさしく扱うためにはどんな置き方が良いかや、子ども自身で玩具を選び遊び、片づけられる室内環境の工夫を期待する。

○保護者との信頼関係を活かし、保育所の目標や指導計画の内容をさらに丁寧に伝えることが望まれる

保育理念や方針などを保護者に説明し、クラス毎の目標なども保護者会資料やクラス室内に掲示して伝えている。また、日々の保育活動の様子は2歳児での連絡帳と3歳以上のクラスに設置されているホワイトボードで適宜伝えており、保育所の活動に関する保護者からの満足度も高い。しかし、利用者調査からは保育目標などをあまり知らない方もみられ、保育所の保育への考えや保育者としての取り組みを保護者へさらに丁寧に伝えることの工夫が期待される。また、保育士が子どもたちをどう見立てたかということや保育者として大切にしている視点、保育援助への関わり方を伝えるさらなる取り組みも望まれる。そのため、子ども一人ひとりの指導計画の内容をさらに丁寧に保護者に伝え、具体的なエピソードとともにそれぞれの場面で職員がどのような思いで、どう関わったかなどを知ってもらうことで、保育に関する思いなどを保護者と共有できる工夫などの配慮も望まれる。

○人材育成などに関する取り組みが整備されており、個別の研修や育成計画の策定、やる気と働きがいの向上に活かされたい

人材育成に関する市の基本方針が定められ、「職員研修事業概要」も整理されており、各職員は保育活動の質の向上、保育者としての資質のさらなる取り組みを進め、職種別の研修に参加し専門の研究活動などを行い、保育活動に活かしている。また、人事評価マニュアルが整えられ、業績評価・能力評価・多面評価・人事異動への対応などが確定しており、年度毎の人事考課も実施されている。今後は自己チェック評価表などを活かして職員のこれまでの学んできた内容や経歴、希望や要望などを整理し、個別の研修や育成計画として取りまとめ、職員のやる気・働きがいのさらなる向上につなげる検討・対応などにも期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審するにあたり、職員の共通意識や再確認をする意味で、マニュアルの読み合わせを繰り返し行い、全職員が同じ方向を向いて保育できるようにしました。また、第三者評価を受けることで職場の見直しや改善を図り、有意義な取り組みになるよう心がけました。訪問調査日で評価調査員からいただいたアドバイスの中で、すぐに実践できるものは職員で話し合い新たに取り組むようにしました。

利用者アンケートでは保護者より満足度が高い評価をいただきましたが、保育目標に対する理解は低いことがわかりました。保育理念・保育方針・保育目標などを各保育室、他に掲示していますが、理解していただくための工夫が足りなかったと痛感しました。保育目標の達成に向けて、日々の保育がどのように展開しているか、日々の保育の積み重ねが大事であることなど、具体的かつわかりやすく保護者に伝えていくことの必要性を再確認しました。

働きやすい環境を整えることで、職員一人ひとりの仕事に対する意欲、やる気が向上心につながると思いますので、働きがいのある職場づくりを大切に、子どもたちにとって楽しい保育所、保護者にとって安心して預けられる保育所となるよう、今後も職員一同努力していきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり